

横浜ベイサイドマリーナ 2 期地区整備事業について

横浜ベイサイドマリーナ 2 期地区整備事業については、事業者から平成 25 年 11 月 8 日に変更計画（案）が提出され、現在、並行して市街地環境設計制度の適用について関係機関との協議が進められています。

1 変更計画（案）の概要

変更計画（案）は、長期滞在型のリゾートホテルを核とした計画となっており、当初計画に比べて当地区を訪れる市民の方々の利用にも配慮した、地域に開かれた施設としての機能を拡充したものとなっています。（別添「イメージパース」参照）

<施設概要>

- (1) ホテルの建物は海への眺望を確保するため 7 棟（9 階建 5 棟、7 階建 1 棟、3 階建 1 棟）に分棟にして配置、延床面積約 82,000 m²
- (2) ホテルの客室数約 800 室、建物の低層部にレストランやショップを配置して賑わいを創出するとともに温浴施設やプールのほか、地域活動が行える施設を配置
- (3) 当地区を訪れる市民も楽しめる歩行者空間（通路、中庭やテラス状の空地）を整備（※）

※震災時には、敷地内に設置するデッキ（人工地盤）や地域活動が行える施設を避難場所として活用

2 今後の取扱い

今後は、計画（案）の妥当性について、年度内を目途に審査を行います。

このため、12 月の開業期限については、審査終了までの間暫定的に延長することといたします。

【別添】



完成イメージパース